

科目名	作業療法治療学実習 I			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年	前期
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に必要とされる知識や技術を授業を通して実践し、実際の実習で実施できる技術を身につける。								
【実務者経験】 作業療法士として順心会幸生病院、介護老人保健施設白寿苑・夢前白寿苑にて、身体障害領域・老年期領域のリハビリテーションに従事経験。								
【授業全体の内容の概要】 提示された事例に対し、評価計画を立て、計画に沿って評価を実施し、統合と解釈、目標を設定し、作業療法計画を立案し実施し、再評価後の考察を考える。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 事例に対し、評価計画を立て、計画に沿って実施することができる 事例に対し、統合と解釈を行い、目標を設定することができる								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	事例 1 : 評価計画作成						教科書・プリント	
2	事例 1 : 評価実施						教科書・プリント	
3	事例 1 : 評価実施						教科書・プリント	
4	事例 1 : 統合と解釈・目標設定						教科書・プリント	
5	事例 1 : 統合と解釈・目標設定						教科書・プリント	
6	事例 1 : 作業療法実施						教科書・プリント	
7	事例 1 : 考察						教科書・プリント	
8	事例 1 : 考察						教科書・プリント	
9	事例 2 : 評価計画作成						教科書・プリント	
10	事例 2 : 評価実施						教科書・プリント	
11	事例 2 : 評価実施						教科書・プリント	
12	事例 2 : 統合と解釈・目標設定						教科書・プリント	
13	事例 2 : 作業療法実施						教科書・プリント	
14	事例 2 : 考察						教科書・プリント	
15	事例 2 : 考察						教科書・プリント	
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学 3 版 能登真一 医学書院 作業療法治療学で使用した教科書すべて								
【準備学習・時間外学習】 1・2年生で学んだ評価の方法を都度復習し、授業に臨む。 授業後は、評価方法を1人でもできるレベルになるように復習する。 治療方法について予習・復習を行う。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を50点、定期筆記試験を50として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。								